

新古今

下紅葉かづちる山の夕しぐれぬれてやひとり鹿の鳴らん

家隆

条峯五老勢ひ相連なる、此鹿碧洞辺より来れり、野麋有れども人見えず、一生長く飲む白雲泉

賈島